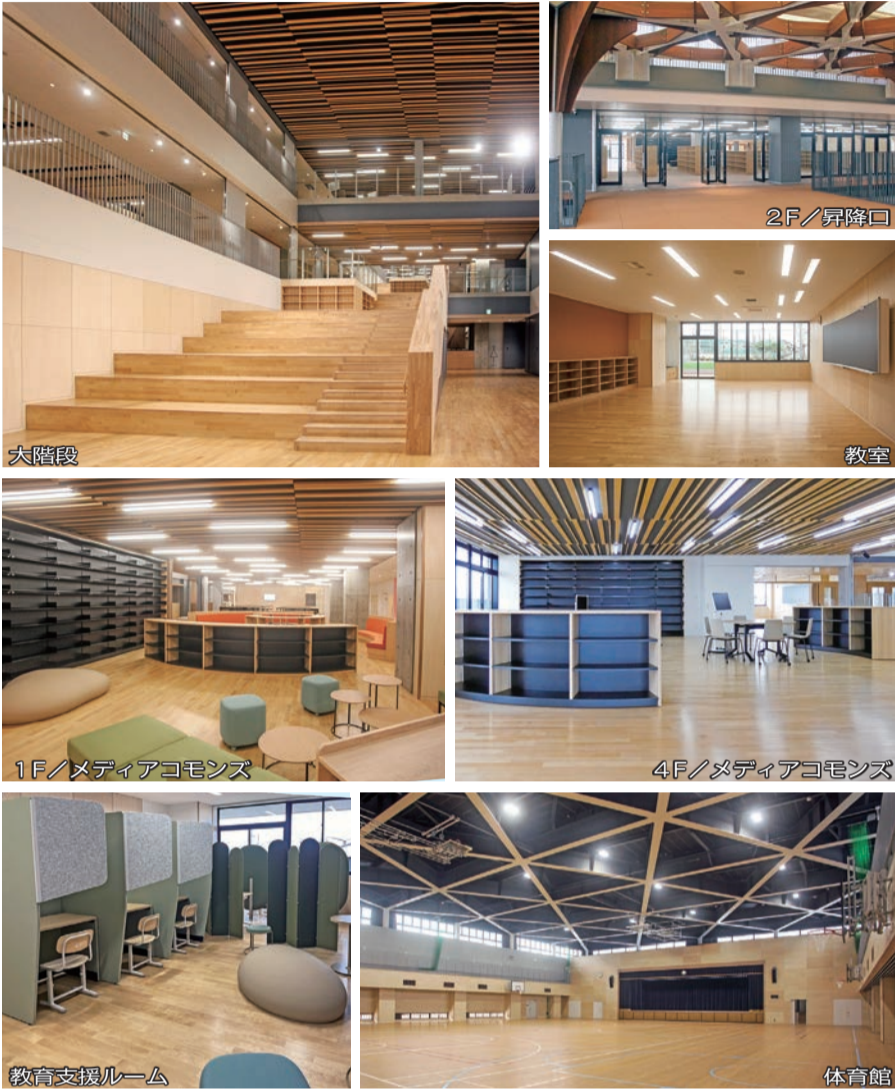




すいおう 水桜学園 開校

教育からまちを変える



4月1日に第四中学校と水桜小学校が統合し、門真市初となる施設一体型の義務教育学校(小・中一貫校)として市立水桜学園が開校します。

義務教育学校の良さを活かした特色のある教育活動を行うことで、教育をきっかけにまちの人がつながり・集う「教育からまちを変える」市内のリーディング校をめざします。

義務教育学校とは

小・中学校9年間の義務教育を1つの教職員組織で一貫して行う学校です。

教育の特色

探究的な学び

総合的な学習の時間を中心に、さまざまな教科などに関連させた探究的な学びを全学年で6年度より実施しています。

対話型オープンスクール「アウトプットデイ」を開催し、地域の人、保護者、異学年の児童生徒などからもらった意見や質問、アドバイスを参考に、さらなる探究活動につなげています。



異学年で行う教育活動

これまでの小・中学校と違い、9年間同じ校舎で学べるメリットを最大限に活かすため、開校前から異学年での活動や交流を行ってきました。

これからも積極的に異学年での取り組みを進めていきます。



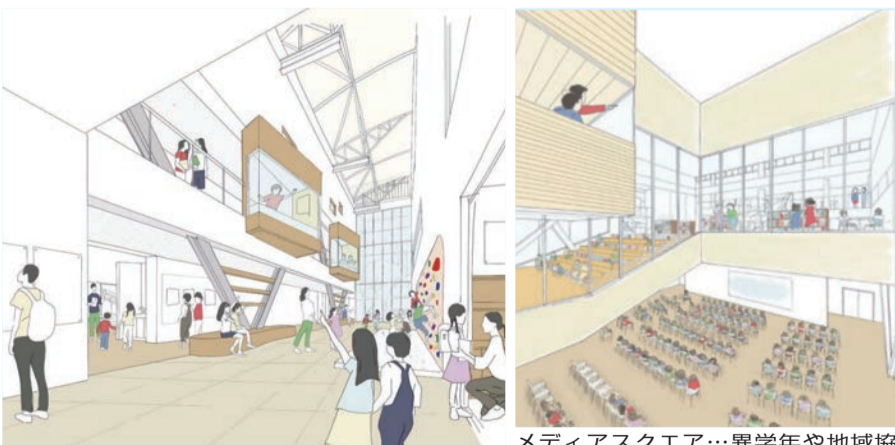
北巢本四宮小学校 はじまる

新たな学び・活動とヒトがつながり、将来の自分が見つかる学校

※画像はイメージです



学年コモンズ…個人やグループ・学年など多様な学びを実現する場



地域ナカモール…屋内運動場と校舎間を貫通する、地域とのつながりをつくる場

メディアスクエア…異学年や地域協働など集団の中で、多様な学びの拠点となる場

4月1日に四宮小学校と北巢本小学校が統合し、11年4月1日に新校舎での学びがはじまる予定です。
新校舎完成までの約3年間は、これまでの北巢本小学校の校舎で北巢本四宮小学校として学校生活を過ごします。

統合校のコンセプト

コンセプトは、人との「つながり」です。異学年交流に加え、学びや行事の中で、中学校・地域・保護者・企業などとのつながりを創出します。

多様な人と出会い、つながる中で、自分も他人も認めることを大切にしながら、自分の可能性を拓く子どもたちを育てていきます。



キーワードは
つながり



学校づくりでは、教職員や地域・保護者だけではなく子どもたちも参画し、ワークショップなどを通して意見やアイデアを設計会社に伝えています。

また、意見やアイデアは、校舎の設計だけでなく、運用面や家具の配置など、さまざまな点で採用できないか検討を進めています。



詳しくはこちら

問合せ先 教育企画課 ☎06(6902)5779